

MEEET

Miyako Environmental Education Times

発行：環境教育プロジェクト

平成26年(2015年)1月1日(木)

第76回の「環境教育ミーティング」は長岡京市の後援をいただき、11月20日(木)に長岡京市立中央公民館と共催で、開催しました。

田邊八千代さんと中田利享さんには、長岡京市民の省エネ活動を行政と協働して推進・支援し、発電所では無く『節電所』を作る活動と、市の進めるステップアップ・チャレンジ活動を受けてボランティア有志が進めている「省エネ推進チーム」の取り組み内容を説明して頂きました。

ご家庭での取り組み度合いはどうでしょうか。(省エネ度のチェックをしてみましよう)

昨年4月から第一歩を踏み出した『10%節電・夏バージョン活動』の結果の解説など、節電・省エネ活動で実際に有効だった知恵を集め『省エネ実行マニュアル＝長岡京版』にまとめ全市に展開していきたい、と夢を持って活動されています。

皆さま方のお知恵も応援も頂きたいと思っておられます。

参加者の感想

1

ステップアップ・チャレンジ活動の「省エネ推進チーム」が取り組まれた『10%節電・夏バージョン活動』の概要を中心に詳しく説明していただいた。

9人の市民の方の取り組み結果グラフなども見せていただき、どのようなことをして全員の平均値で目標を達成されたか興味深く聞かしてもらいました。

冷蔵庫の放熱板部分を濡れタオル等で冷やす方法などは判っていても私自身実際に取り組んだことがなく、そこまでやらねばならないのかと改めて知らされ、ネジを巻かれた気持ちになりました。

色んな人の取り組みを聞いて、自分の家の状況・家庭環境などを考慮してその人に合ったやり方を模索し、皆で前進して行くことが重要だ

と思います。

冬バージョン取り組みも成功されます様、応援しています！

2

○具体的なデータで削減効果が示されていたため、説得力があった。

○意見交換会を通して様々なアイデアや専門的なアドバイスが受けられる点が良い。

○今後の課題として挙げておられたが、貸出器10台という制約の中、いかに効果を広げていくかが大切だと感じた。今回のような場もその一つになった。



3

今回の環境教育ミーティングでは、省エネナビについて丁寧な説明から結果検証まで行って頂き、大変興味深い内容でした。

やはり自分が普段どれくらい電気を使っているか数値で見えるよ

うになると、「減らさなければ」という意欲が出てくるのだらうなと感じました。

また、節電のためのいろんな豆知識を知ることができたので、今後ぜひ家で行ってみたいと思います。次回も楽しみにしています。

4

今回の省エネモニター〈夏の部〉に参加しました。

以前省エネナビによる測定を検討したことがありましたが、古いマンションのため、配電盤の構造上測定器を設置できないとあきらめていました。今回中田さんのご提案とご尽力によりうまく測定できました。

測定の結果、昨年比べ7月～10月の期間でどの月も使用量が昨年より減少していました。

わが家の使用量は全体の約40%が冷蔵庫です。今回省エネナビを使って得られたデータから気温と使用電気量の関係が解析したいと思っています。

なお、省エネナビソフトに関する要望として、使用電力データの表示は、30分や1時間くりのほかに、1日毎の使用電力が表示されると解析に便利だと思います。

5

「日本一楽しく省エネ」のことばに感動しました。丁寧な「省エネ相談」をされている成果もあり、今回の話を聞かれて、モニターを引き受けられた方があったのは大変に良かったです。

モニターのデータをグラフにして解析、解説されたのは非常に良く理解できました。ミーテ

ィングではデータから家の構造などが想像されて楽しかったです。

太陽光発電を設置している家庭ではモニターが出来ないのが残念でした、我が家ではこのたび、関西電力の「はぴeみる電」に登録して、電力使用状況をチェックしています。

6

ミーティング参加して、省エネチャレンジを始めました。12月1日（月）ブレーカーの箱を開けて、私はメカに弱いので、市役所の方に電力センサーと表示器を設置してもらい、セットが出来ました。まずは昨年度（25.12.1～26.1.3）のメーターの10%カットでスタートしました。

始めは気にして見ていたが、だんだん慣れてきて、自然になってきました。自宅で1日（使用時間24H）どれくらい使っているか？時間によっていつの時が良く使用するか見ます。また、急にグラフが上がった時はどうか（ホーム炬燵使用）。そういう時は夫婦で一緒に炬燵に入って（今までは別々の時が多い）テレビを見る事で、省エネ&夫婦仲



良く出来て、プラスになったように思います。

また、家族で表示器を見る事で、電気の消し忘れ（今迄はよくあった）をチェックするようになりました。

最後に、省エネにチャレンジするにしても絶対に無理をして節電しないこと、表示器がなくても、すこしづつでも節電していけば、一年経てば大きなメリットになるので……と思います。

7

〇みなさんに見ていただくために、いろいろな角度からデータをまとめることができ、逆に発見ができました。今後のPRにも活用したいと思います。



〇ご質問の中でもありましたが、モニターになった方々が継続して省エネができるかどうかも課題です。

今回のモニターさんの中からも新たにこの活動に加わってくださった方もいらっしゃると思います。そういった新しいメンバーも増やしなが、裾野を広げていければと思います。

〇またこの活動を通して、省エネの楽しさや必要性を伝えていかなければいけません。そのためのツールが必要だと感じています。それがこれからの大きな活動になってくると思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

